

# 大山町版 CCRC の 検討は？

町長

## 慎重な検討を要する



吉原 美智恵 議員

【吉原】政府の有識者会議で、「日本版CCRC構想を生涯活躍のまちと称し、高齢者が元気なうちから移り住み、地域の仕事や生涯学習への参加を通じて活動的な生活を送ることをめざす」としている。

本町の総合戦略の骨子案に盛り込まれているが、早急に現実味をもつて取り組んでは。

【町長】大山町版として取り組むには、共同体を形成するための施

設や場所、運営推進の担い手、財政負担などの課題が多く、慎重な検討を必要とする。

【吉原】有識者会議の中間報告では、介護保険給付費について交付金の配分額を手厚くするなど、制度見直しを検討するとしている。

急激な人口減少、空き家や廃校の再利用など、町の課題解決に中高年の移住が打開策となりうるのではないかと。【町長】情報収集をしながら、方向性を探る。



元気な高齢者を呼びこめ

# 防災体制の強化は？

町長

## 国・県と連携していく

【吉原】地球規模の気候変動を受け、日本列島でも大災害が続出し

住民の生命・財産を守るため、防災体制のいっそうの整備と強化が必要と考えるが、課題への取り組みは。

【町長】最近、大雪・大雨・竜巻などの異常気象が局地的に発生するため、事前予測が困難になっている。

町だけでは体制の整備に限りがあり、国・県と連携していく。

【吉原】この頃50年に一度という災害が多く、想定外という言葉がよく使われる。これだけ大災害が多くなると、

そういう事態を想定しておかなければならない時代になっているのではないかと。

形が化した防災訓練、特別警報時の住民へのお知らせ方法、自

主防災組織の充実など、

【町長】本町の防災マップを活用し、住民への働きかけを行い、自主防災組織などの充実を強化する。



御来屋地区の避難訓練